

# 楽只学区

・人口 2,120 人  
・世帯数 1,305 世帯

\*人口、世帯数は令和8年1月1日現在  
(京都市住民基本台帳より)

## 〈住民組織の名称〉

楽只学区社会福祉協議会

## 〈主な年間行事〉

5月 団体長会議

8月 楽只夏祭り

(いきいき楽ちゃんフェスティバル)

9月 「敬老の日」お祝い配布

いきいき市民活動祭

(長寿のつどい)

10月 楽只学区民大運動会

11月 自主防災訓練

年3回 配食ボランティア

(楽ちゃんキッズテリ)

民生児童委員会

(子育てサロン)



## 〈学区の概要・活動PR〉

楽只学区が位置する蓮台野は、中世以前より葬送に關与する被差別民や庭掃除、穢れの除去に關わった河原者・清目などが北野社や大徳寺の記録に登場しています。

江戸時代になると、蓮台野村は、二条城の掃除役や行刑役を担ったことから「役人村」と称されるようになります。

明治期には、年寄益井元右衛門・茂平親子による「身分取立嘆願書」の提出や「蓮台野〈楽只〉小学校」の創立、大正期には、全国水平社創立の翌1923(大正12)年3月3日、連盟本部(中央執行委員長南梅吉自宅)が置かれた千本に水平社が誕生します。

戦後は、部落解放研究北区集会「きたけん」が1972年以来、半世紀近く取り組まれており、明治初期から150年以上に及ぶ蓮台野村・楽只学区の反差別・人間解放に向けた歴史・伝統は、楽只学区の教育・保育をはじめとした、ひとづくり・まちづくりの取組に「人権文化」として確実に根づいています。

楽只学区では、千本の改良住宅建替え事業・地区施設の移転によって生じた事業用地を活用した、「北区のセンターシティ楽只」の具体化に向けて、2025年6月19日、京都市に要望書を提出しています。



第52回 きたけん学習会



配食取組(楽ちゃんキッズテリ)



益井茂平顕彰碑



全国水平社連盟本部初代事務所跡碑